

平成 27 年 5 月 15 日
国土交通省木曾川下流河川事務所
中日本高速道路株式会社名古屋支社 桑名保全・サービスセンター

【自治体初参加】桑名市と合同で高速道路上からの 復旧資材搬入訓練を実施

国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所と中日本高速道路株式会社名古屋支社桑名保全・サービスセンターとは、木曾三川下流部の堤防等が被災して大規模な浸水被害が発生した場合を想定し、東名阪自動車道から木曾川河川堤防へ復旧資材を直接搬入する訓練を実施します。

本訓練は、平成 25 年 4 月 28 日に両者において締結した「災害時の河川堤防等の復旧のための高速道路区域の一時使用に関する協定」に基づき行うものです。

今回は合わせて、桑名市城南河川防災センター・城南河川防災ステーション、白鷄河川防災ステーションを活用し、桑名市及び三重県建設業協会も訓練に参加し、複合的な訓練を実施します。

1. 実施概要

- (1) 日 時：平成 27 年 5 月 27 日（水） 9：00～
- (2) 場 所：東名阪自動車道（下り線 40.5kp）／木曾川右岸堤防 9.8kp の交差部
（三重県桑名市長島町小島部地先）
桑名市城南河川防災センター・城南河川防災ステーション、白鷄河川防災ステーション
- (3) 参加機関：中日本高速道路（株）名古屋支社桑名保全・サービスセンター、桑名市、
三重県建設業協会桑名支部、国土交通省木曾川下流河川事務所
- (4) 訓練概要：別添 1 別添 2 訓練のイメージ参照

2. 一般見学について

訓練の見学を希望される方は、5 月 25 日（月）17 時までに別紙「見学申込書」の提出をお願いします。

3. 取材について

取材を希望される報道機関は、5 月 25 日（月）17 時までに別紙「登録書」の提出をお願いします。

※訓練当日の見学及び取材は、別添 3 訓練実施箇所等位置図のとおり、マイクロバスにて訓練会場を随時移動します。座席に限りがある（定員：40 名程度）ため、先着順とさせていただきます。

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、桑名市政記者クラブ、大垣市政記者クラブ、
津島市政記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 TEL：0594-24-5715
副 所 長 川原林 哲也
調査課長 村田 智孝

見学申込書

訓練の見学を希望される方におかれましては、5月25日（月）17時までにご登録をお願いいたします。

※木曾川下流河川事務所よりバスにてご案内しますので、訓練当日8:50までに、木曾川下流河川事務所受付に集合してください。

申込み機関名	
担当者氏名	
担当者連絡先	

見学希望者

役 職	氏 名	備 考

【提出先】 FAX : 0594-21-0893

【問合先】 国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所
副 所 長 川原林 哲也
調査課長 村田 智孝 TEL : 0594-24-5715

取材登録書

取材を御希望の報道機関におかれましては、5月25日（月）17時までにご登録をお願いします。

※木曾川下流河川事務所よりバスにてご案内しますので、訓練当日8:50までに、木曾川下流河川事務所受付に集合してください。

1. 報道機関名

2. 氏名

3. 連絡先（電話番号）

【提出先】 FAX : 0594-21-0893

【問合先】 国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所
副所長 川原林 哲也
調査課長 村田 智孝 TEL : 0594-24-5715

被災想定

- ・平成27年5月12日、巨大台風による高潮の影響で、揖斐川右岸0.2km地先の河川堤防が決壊。
- ・水防センター（城南河川防災ステーション）に現地対策本部を設置。
- ・河川水の堤内地への浸水を防ぐため、城南河川防災ステーションよりブロックを搬出し、破堤箇所に投入。
- ・不足するブロックを補給するため、桑名市長島町にある白鷺河川防災ステーション及び近隣事務所及び中部地方整備局管外から城南河川防災ステーションに搬入。
- ・近隣事務所及び中部地方整備局管外からのブロック運搬には、東名阪自動車道を活用。

訓練の概要（イメージ）



訓練内容
○防災無線による通信訓練
【桑名市】



訓練内容
○高速道路からの資材搬入訓練【NEXCO、木曾川下流河川事務所】
○Ku-SAT IIによる通信訓練【木曾川下流河川事務所】
※詳細は、別添2参照



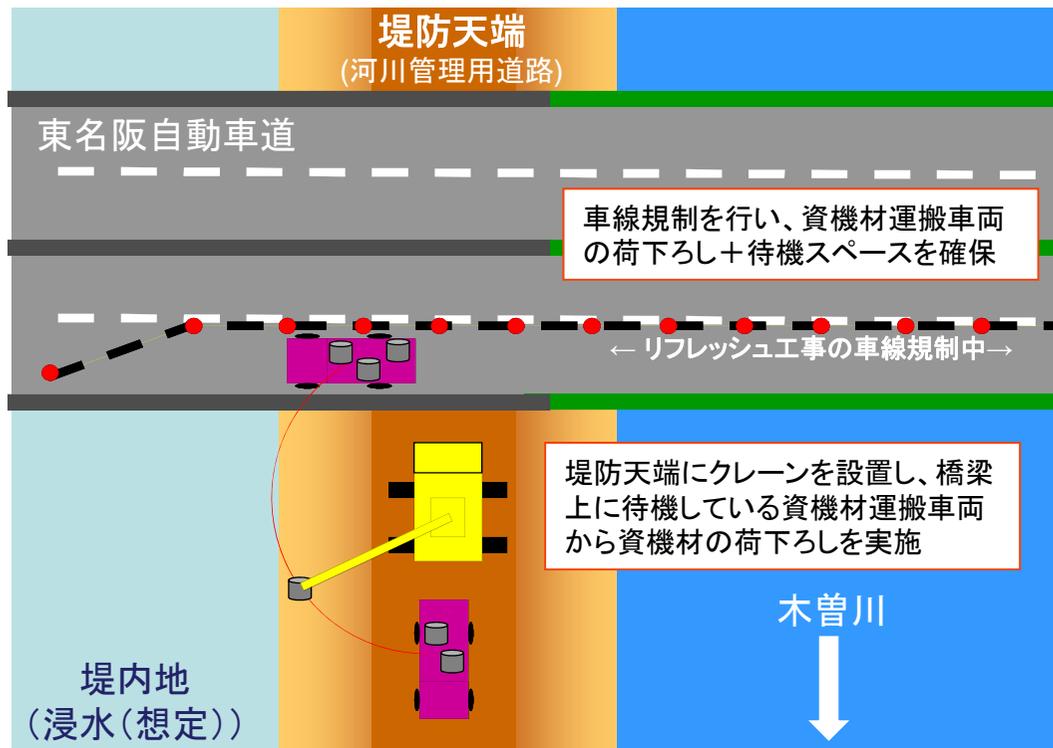
訓練内容
○資材搬入訓練【木曾川下流河川事務所】
○防災無線による通信訓練【桑名市】
○衛星通信車による通信訓練【木曾川下流河川事務所】



訓練内容
○資材搬出訓練【木曾川下流河川事務所】
○土嚢拵え【三重県建設業協会桑名支部、木曾川下流河川事務所】
○防災無線による通信訓練【桑名市】
○画像伝送設備による通信訓練【木曾川下流河川事務所】

高速道路より堤防への資材搬入訓練のイメージ

- 木曾三川下流部はゼロメートル地帯が広がっていることから、河川堤防が決壊した場合、浸水被害は甚大となり、また、通常の潮位でも浸水することから決壊した堤防を締め切らない限り浸水状況は解消しないことが予想される。
- このような大規模浸水時には、標高の低い一般道路から堤防復旧箇所へのアクセスが困難になることが予想される。
- 今般、東名阪リフレッシュ工事の車線規制に合わせて、大規模な浸水被害が発生したことを想定し、復旧に必要な資材(コンクリートブロック)を木曾川右岸堤防へ直接搬入する訓練を実施する。



高速道路より堤防への資機材搬入イメージ



東名阪自動車と木曾川堤防道路の立体交差点部
(木曾川右岸9.6kp付近)

※東名阪自動車リフレッシュ工事による車線規制を利用して訓練を実施

訓練実施箇所等位置図

